

大平洋金属株式会社
2018年3月期 期末決算説明会

2018年5月18日

お問合せ先：総務部(IR担当) 03-3201-6681

ホームページ：<http://www.pacific-metals.co.jp>

I. 経営環境について

1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	4
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	5
3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	6
4. ニッケル銑鉄(NPI)生産の動向	7

II. 18.3期 決算実績

1. 期末決算実績	9
2. 国別販売実績	10
3. 連結経常損益分析	11

III. 中期経営計画「PAMCO-30」の進捗状況

1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況	13
2. 経営課題への取り組み ～ 鉱石調達について～	16
3. 経営課題への取り組み ～ 資本政策について～	17
4. 経営課題への取り組み ～ ESGへの取り組み状況について～	18

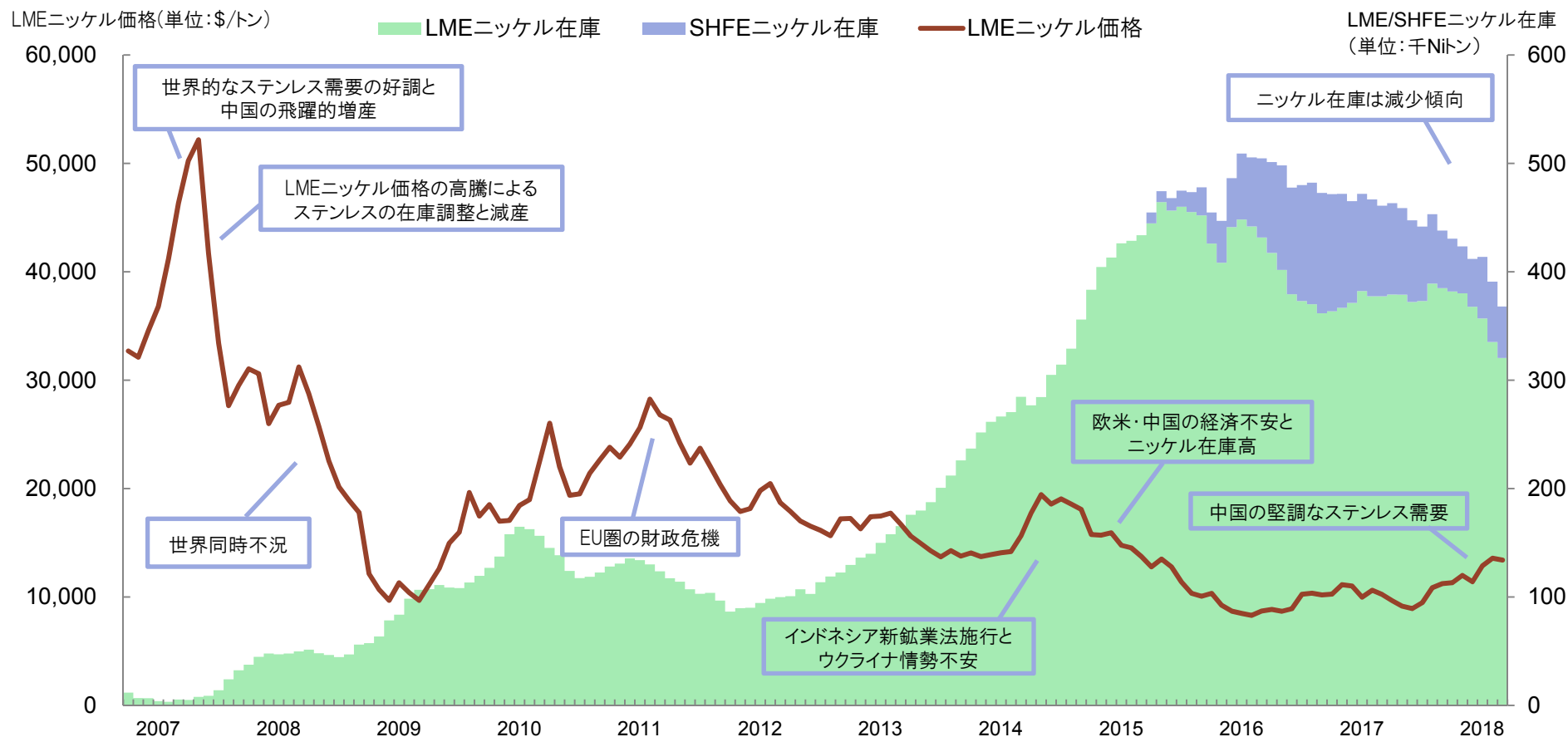
IV. 19.3期 決算見通し

1. 決算見通し	20
2. 国別販売見通し	21
3. 連結経常損益分析	22

【参考データ】中期経営計画「PAMCO-30」と実績値(見通し値)との比較	23
--	-----------

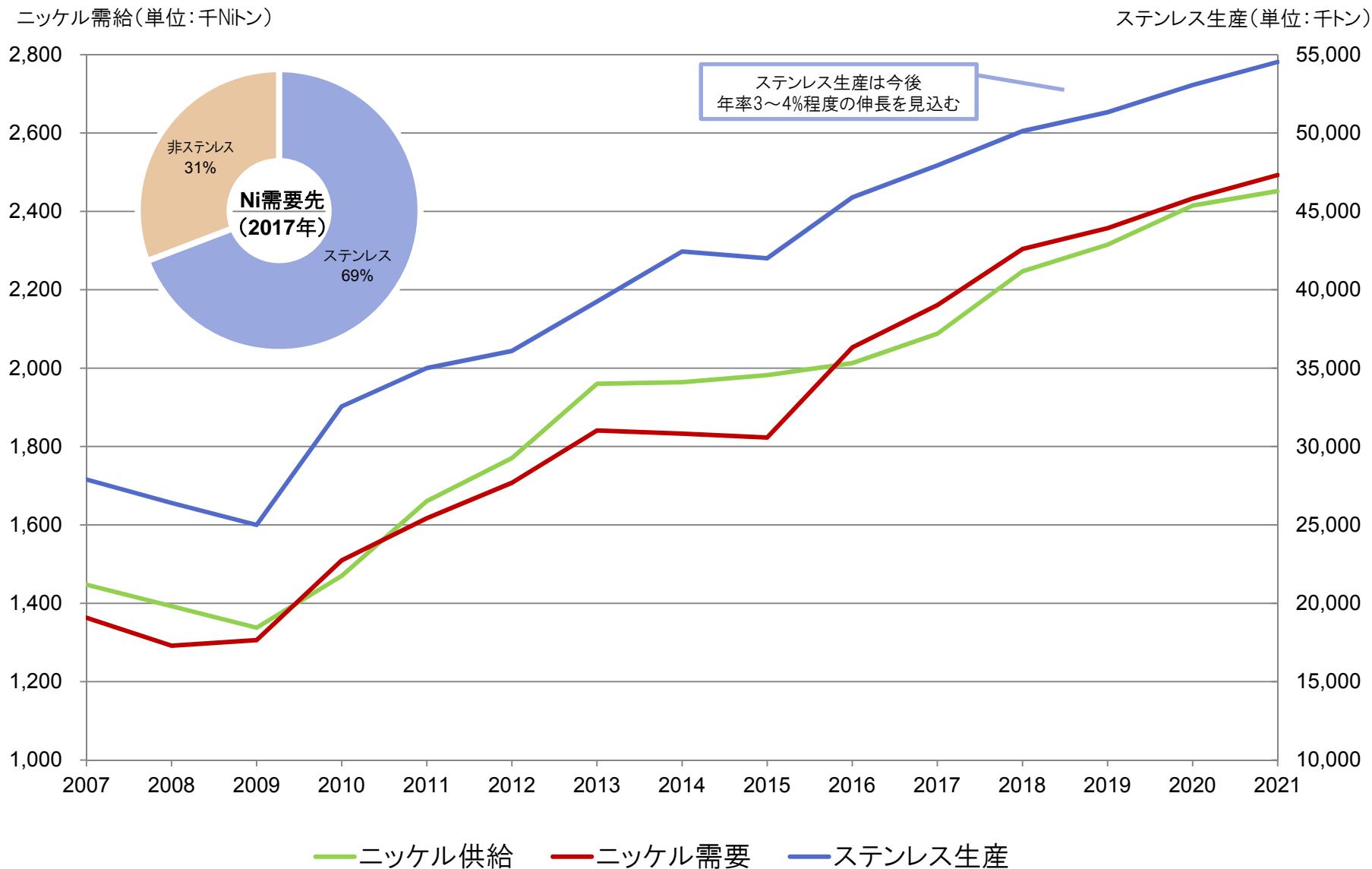
I 経営環境について

1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移



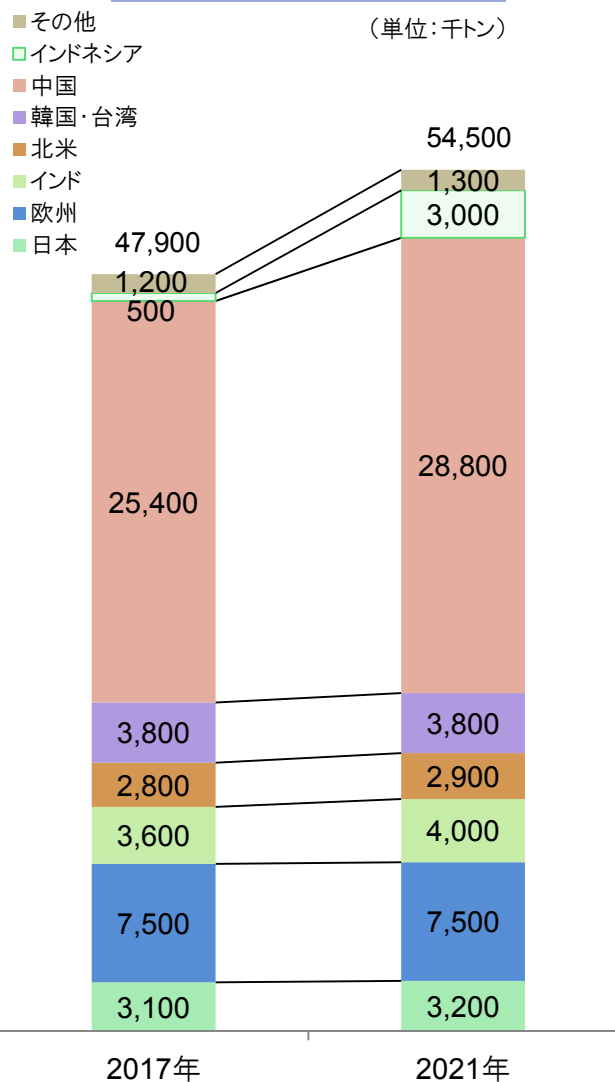
業績の推移	07.3	08.3	09.3	10.3	11.3	12.3	13.3	14.3	15.3	16.3	17.3	18.3
売上高 (百万円)	100,283	116,420	72,976	58,490	74,786	48,330	58,489	56,408	61,225	47,649	38,697	41,210
営業利益 (百万円)	44,455	52,251	16,169	11,774	18,495	154	2,168	△4,080	△7,788	△15,358	△3,070	△3,239
経常利益 (百万円)	45,716	56,315	18,388	13,441	20,768	3,524	4,921	△1,839	△92	△12,284	△516	△203

2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

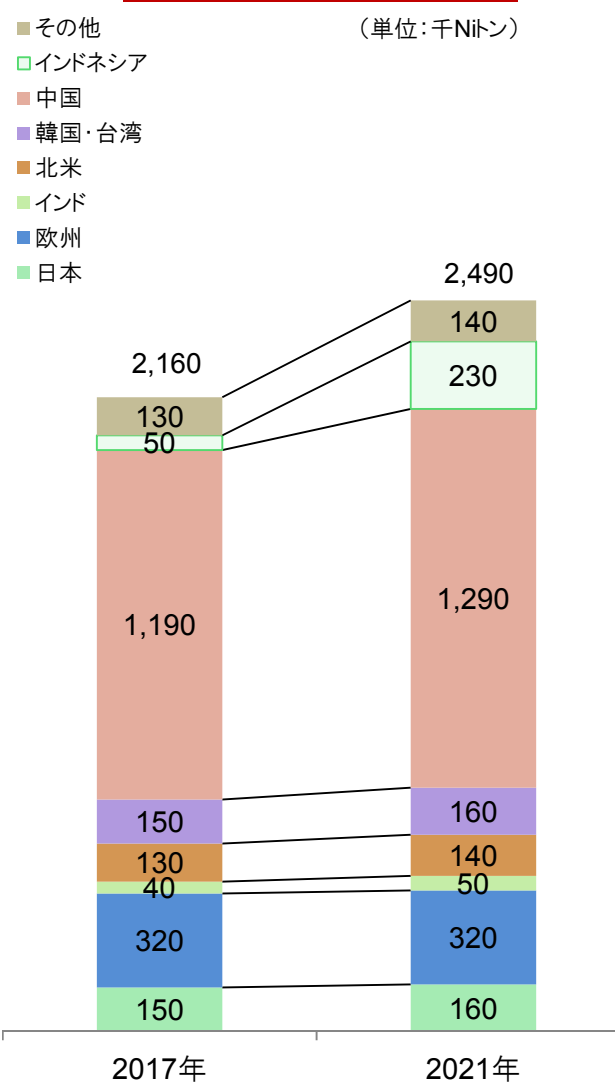


3. 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

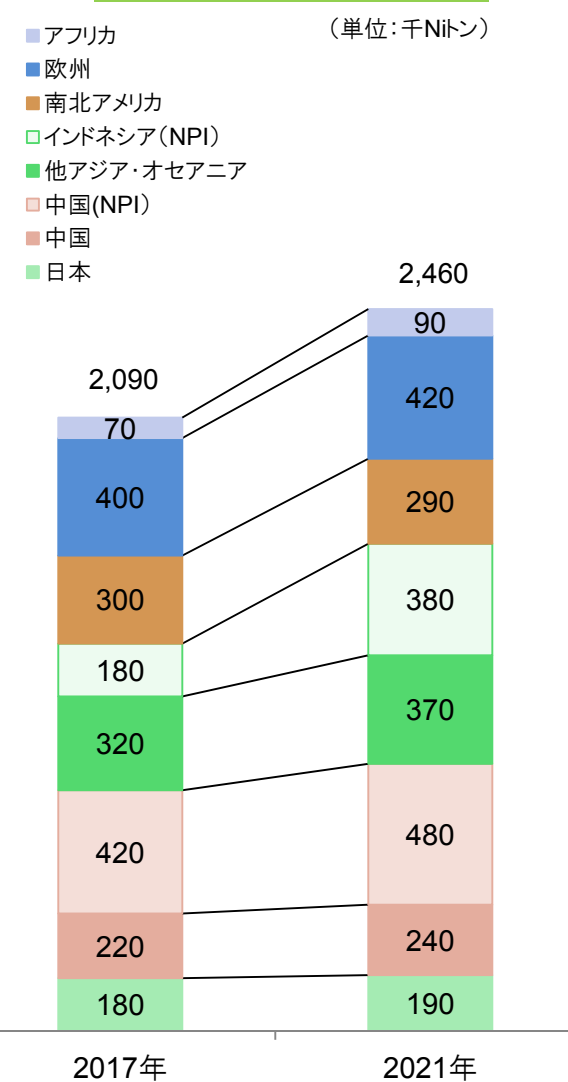
ステンレス生産見通し



ニッケル需要見通し

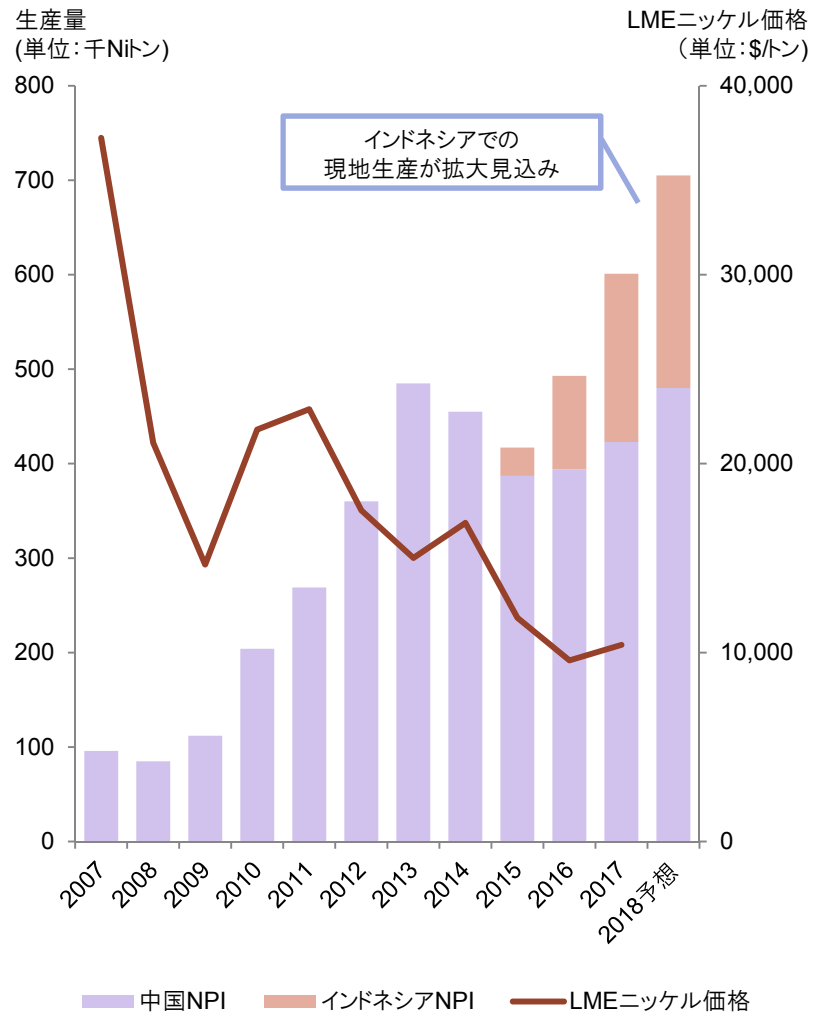


ニッケル供給見通し

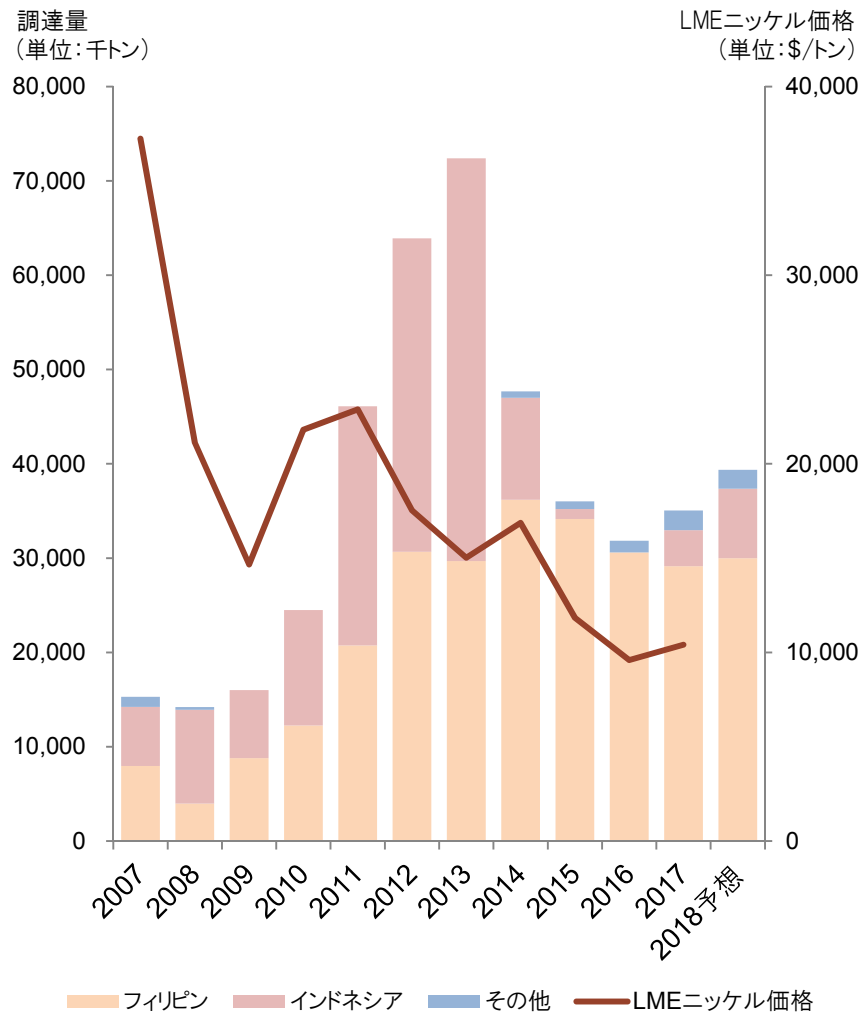


4. ニッケル銑鉄(NPI)生産の動向

NPI生産量の推移



中国のNi鉱石調達量の推移



Ⅱ 18.3期 決算実績

1. 期末決算実績

【概要】

(単位:百万円、%)

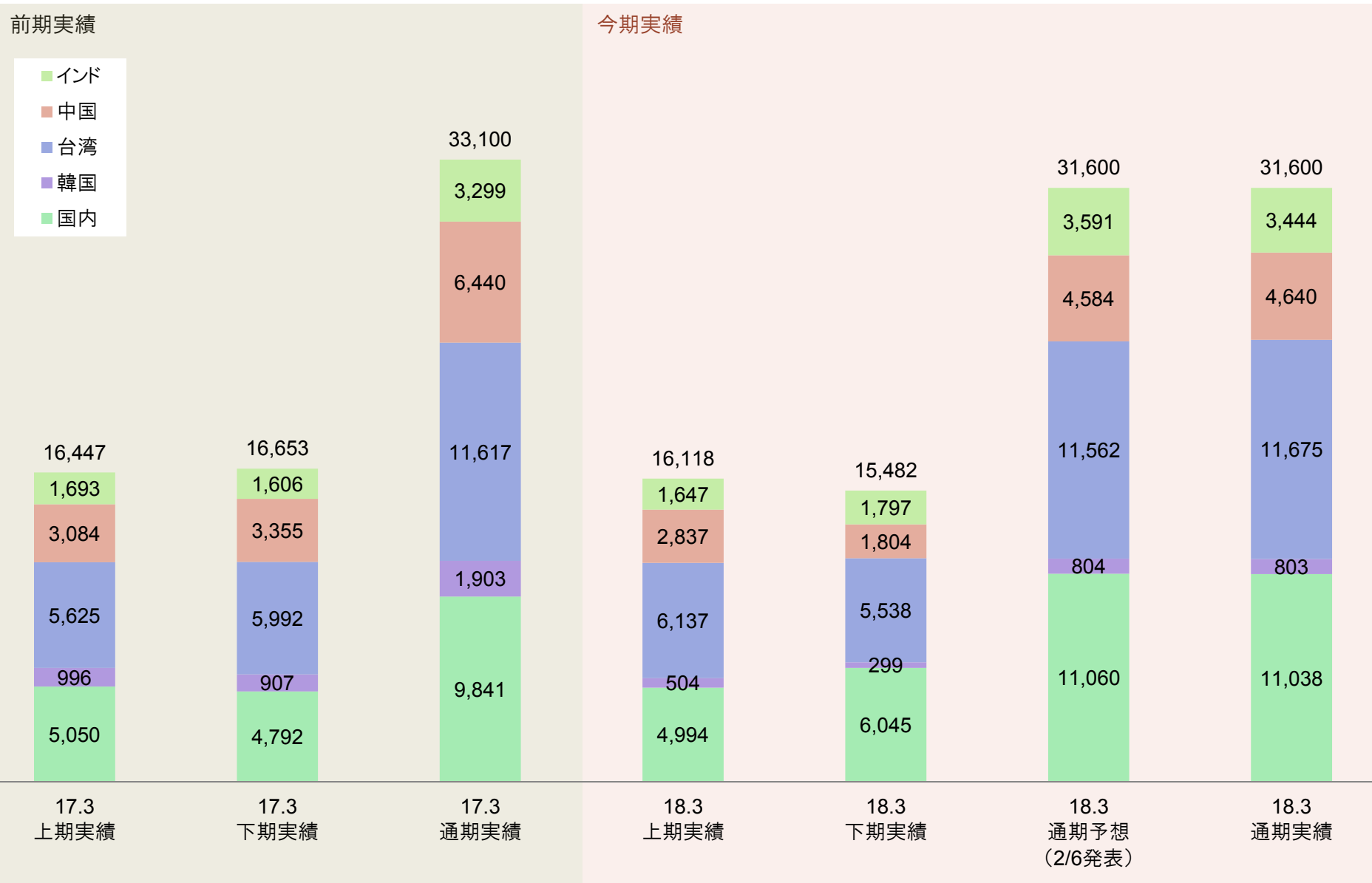
	17.3実績		18.3予想 (2/6発表)		18.3実績		対 前期比	対 2/6発表 予想比	トピックス
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率			
売上高	38,697	—	40,314	—	41,210	—	6.5	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原料価格等 依然高水準で推移 ■ LMEニッケル価格 上昇により増収 ■ その他 持分益増加・特損減少 ■ 損益 結果、損益水準は改善
営業利益	△3,070	△7.9	△5,557	△13.8	△3,239	△7.9	—	—	
経常利益	△516	△1.3	△2,445	△6.1	△203	△0.5	—	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,562	△9.2	△3,106	△7.7	△811	△2.0	—	—	
(投資額)	269	—	—	—	259	—	△3.7	—	
(減価償却費)	376	—	—	—	312	—	△17.0	—	

【ニッケル事業】

	17.3実績	18.3予想 (2/6発表)	18.3実績	対 前期比 (単位:%)	対 2/6発表 予想比 (単位:%)	トピックス
生産数量(Niトン)	33,101	29,811	29,902	△9.7	0.3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産数量・販売数量 第2四半期から 一部調整を実施 ■ 適用LMEニッケル価格 昨年実績よりも上昇
販売数量(Niトン)	33,100	31,600	31,600	△4.5	0.0	
適用LME(\$ / トン)	9,877	10,450	10,692	8.4	2.3	
[適用LME(\$ / lb)]	[4.48]	[4.74]	[4.85]			
適用為替(¥ / \$)	108.64	111.33	111.15	2.3	△0.2	

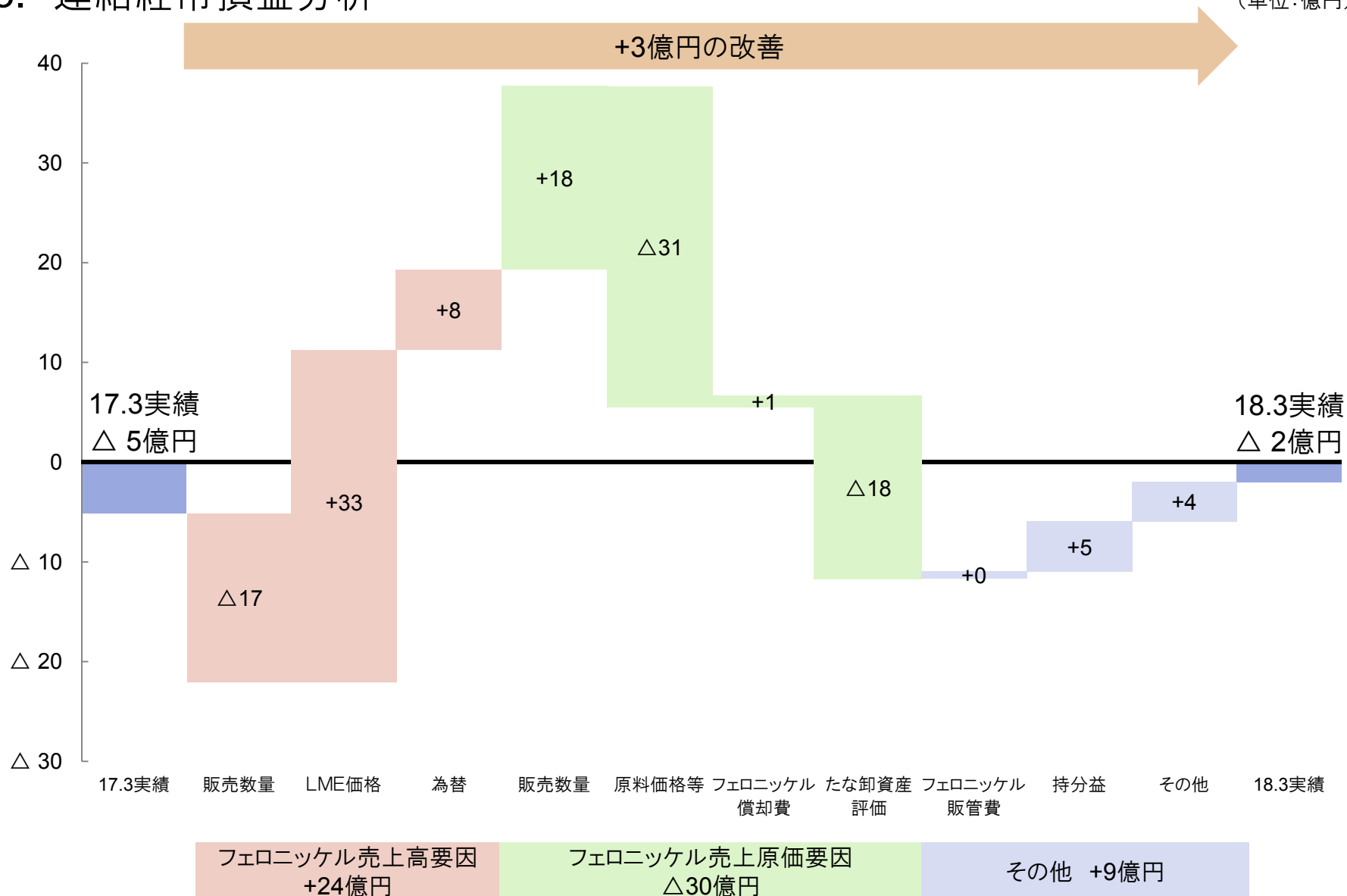
2. 国別販売実績

(単位: Niトン)



3. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



Ⅲ 中期経営計画「PAMCO-30」 の進捗状況

1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況①

「PAMCO-30」の主な重点施策と振り返り	
フェロニッケルの生産・販売施策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率操業の継続による鉱石品位低下傾向への対応 ・設備保全施策強化による操業の安定化 ・CS活動と安定した製品品質の提供継続
ニッケル資源調達の安定化	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリピン新規ソースからの調達 ・鉱石の安定調達とコストバランスの追求 ・インドネシア鉱石調達に向けた協議を強化 ・資源国との連携強化と情報共有
収益性の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる生産コスト及び物流コストの削減策を深掘り ・不採算製品の生産終了 ・徹底したエネルギー管理の実施

**基盤固めの
総仕上げに向けて
重点施策の
実施強化**

**「PAMCO-30」17.3期・18.3期は
収益性の強化策により
約15億円のコスト削減実現**



19.3期
(「PAMCO-30」最終年度)

これまでの事業環境
<ul style="list-style-type: none"> ・17.3期: 計画数量の達成・高効率操業等により業績は改善 ・18.3期: LMEニッケル価格は幾分回復し、ニッケル鉱石価格水準は低下したものの、計画ほどの業績回復基調にはなく収益性低下、生産・販売数量の調整

17.3期
(「PAMCO-30」初年度)

1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況②

「PAMCO-30」の計画値と実績値との比較(17.3期・18.3期累計)

【概要】

(単位:百万円、%)

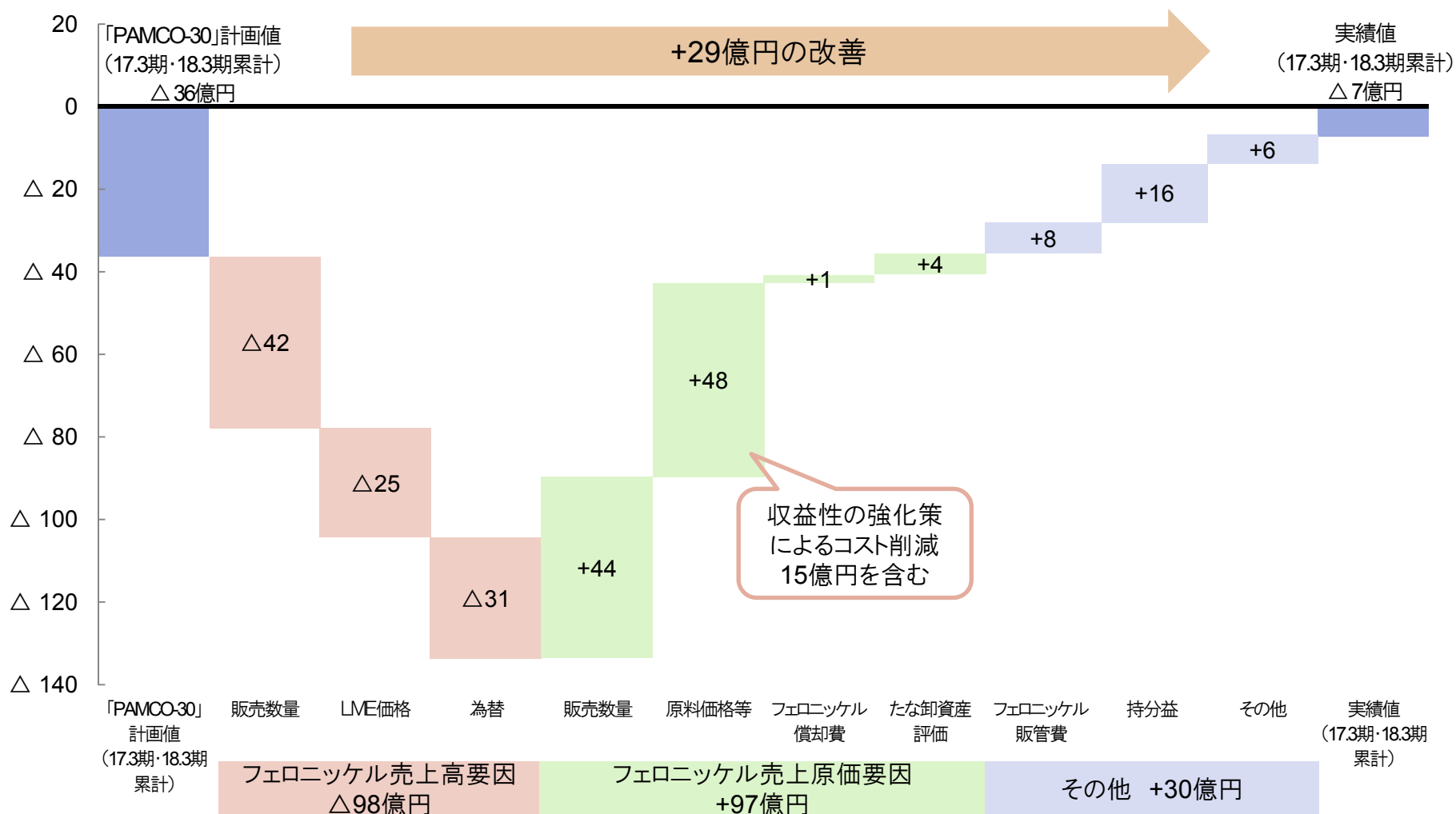
	「PAMCO-30」計画値 (17.3期・18.3期累計)	実績値 (17.3期・18.3期累計)	対 計画比	トピックス
売上高	89,590	79,907	△10.8	■ 営業利益・経常利益 収益性の強化策によるコスト削減や、 持分益増加により改善 ■ 当期純利益 17.3期に特別損失(「契約損失 引当金」等)が発生したものの、 結果は計画とほぼ同レベル
営業利益	△7,592	△6,311	—	
経常利益	△3,629	△719	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	△4,190	△4,373	—	
(投資額)	2,917	528	△81.9	
(減価償却費)	803	688	△14.3	

【ニッケル事業】

	「PAMCO-30」計画値 (17.3期・18.3期累計)	実績値 (17.3期・18.3期累計)	対 計画比	トピックス
生産数量(Niトン)	67,778	63,003	△7.0	■ 生産数量・販売数量 計画と比べてやや減少 ■ 適用LMEニッケル価格・適用為替 計画と比べてやや低下
販売数量(Niトン)	68,000	64,700	△4.9	
適用LME(\$/トン)	10,913	10,274	△5.9	
[適用LME(\$/lb)]	[4.95]	[4.66]		
適用為替(¥/\$)	114.50	109.87	△4.0	

1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況③

「PAMCO-30」計画値と実績値との比較(17.3期・18.3期累計、連結経常損益)

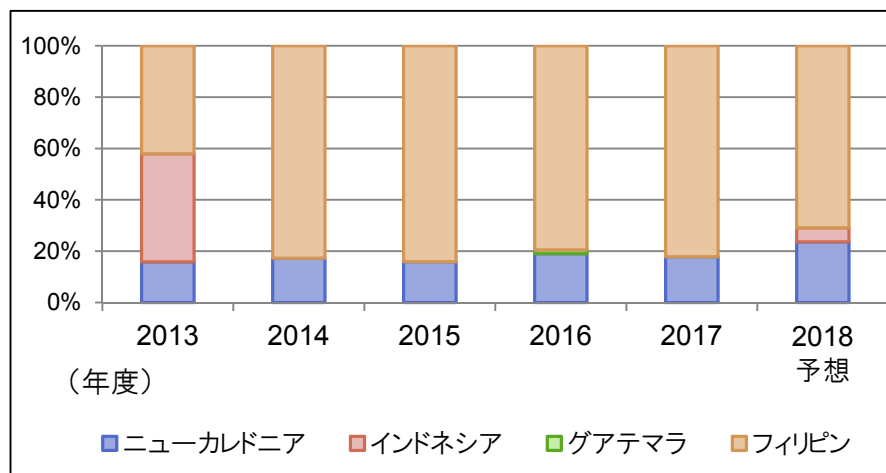


2. 経営課題への取り組み ～鉱石調達について～

鉱石長期購入契約の状況

購入先	16.3	17.3	18.3	19.3	20.3
＜フィリピン＞ リオ・チバ社(36%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ タガニート社(33.5%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ カグジャナオ社	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜ニューカレドニア＞ モンタニア社	2016年4月～2026年3月(10年間)				
＜ニューカレドニア＞ MKM社	2014年1月～2023年12月(10年間)				

鉱石調達割合の動向



インドネシア鉱石

- ・ 期間限定の輸出再開を受け、価格状況等を考慮しながら調達する予定

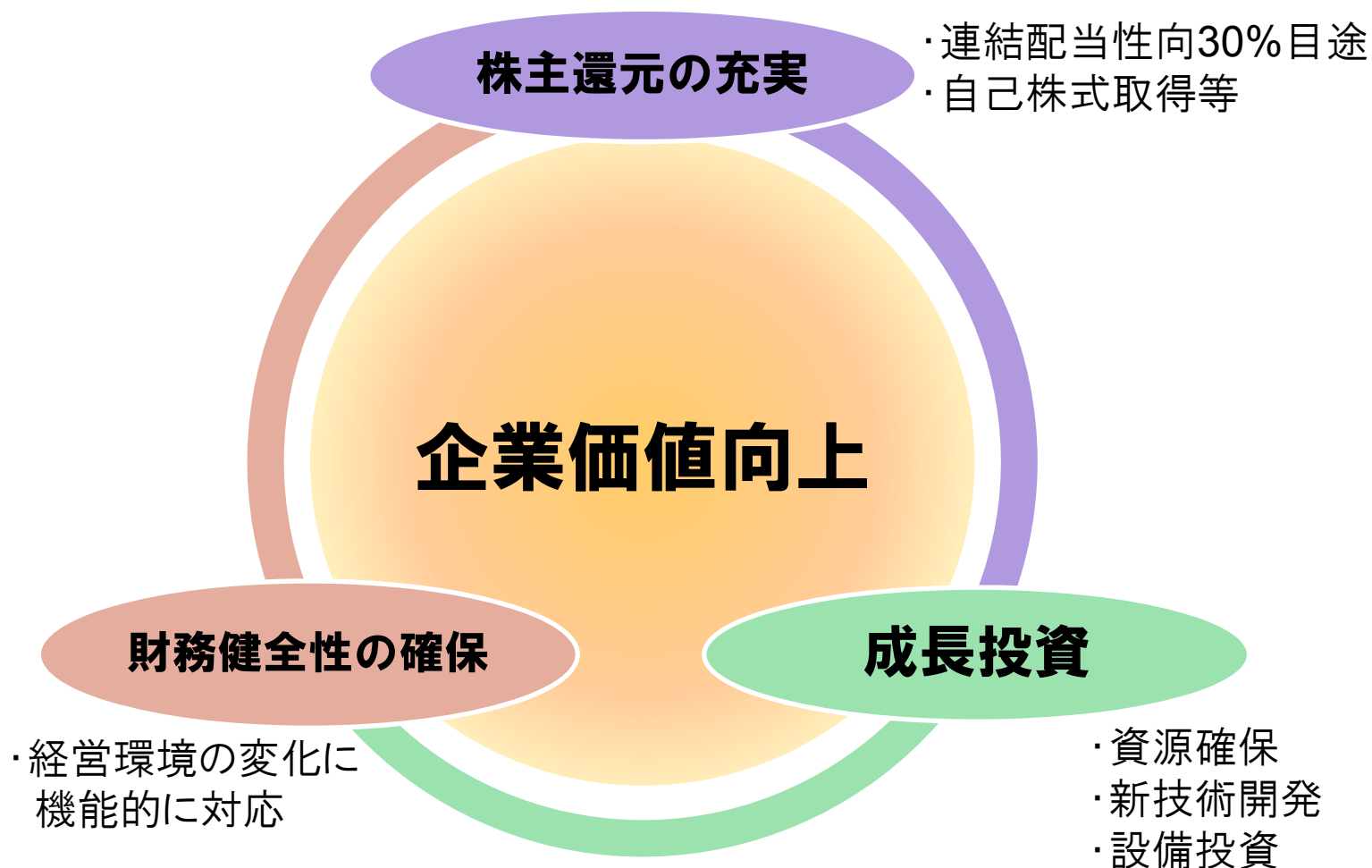
ニューカレドニア鉱石

- ・ 調達数量を増加させていく基本方針を今後も継続

フィリピン鉱石




- ・ 既存のソースに加えて、新規ソースからの調達も視野に

3. 経営課題への取り組み ～資本政策について～



「PAMCO-30」の17.3期・18.3期は厳しい環境が継続 → 財務健全性の確保に注力
引き続き、最適なバランスを追求し企業価値向上へ

4. 経営課題への取り組み ～ESGへの取り組み状況について～

<p>環境 Environment</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 循環型社会に向けた取り組み → フェロニッケルスラグの覆土材料、土木用資材等への有効利用による全量リサイクル化を実施 • あおりエコ事業所に認定 → 環境に配慮した取り組みが評価され、青森県より「もったいない・あおりエコ事業者」に認定(2017年2月) • ニッケル鉱山での植林協力 → 各鉱山における植林情報の共有による植林活動の推進 • 省エネルギー対策 → 省エネ設備への改良や電気炉高温排ガスの再利用による重油およびLNG使用量を削減 • 水質汚濁防止対策 → 循環水使用による水使用量の削減と排水終末処理による協定値超過ゼロを継続 	
<p>社会 Society</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域社会との共生 → 地域活性化イベント「八戸工場大学アートプロジェクト」への参加(2017年1月) • 工場周辺や地域の清掃活動 → 当社工場周辺の道路沿いの清掃活動を年2回実施 	<p>▲八戸工場大学アートプロジェクト (当社より排出される水蒸気に色とりどりのレーザー光を照射)</p> 
<p>ガバナンス Governance</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コーポレート・ガバナンスの充実・強化 → コーポレートガバナンス・コードへの対応強化および内部統制システムの構築により、ガバナンス体制のさらなる強化を目指す • 統合マネジメントシステム(IMS)の活用 → IMSの活用による定期的な現場監視と記録類点検による法規制遵守を強化 	<p>▲工場周辺の清掃活動</p> 

引き続きESGへの取り組みを積極的に継続

参考資料

- 「環境・社会報告書」
<http://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>
- 「コーポレートガバナンスに関する基本方針」および「コーポレート・ガバナンス報告書」
<http://www.pacific-metals.co.jp/ir/governance.php>

IV 19.3期 決算見通し

1. 決算見通し

【概要】

(単位:百万円、%)

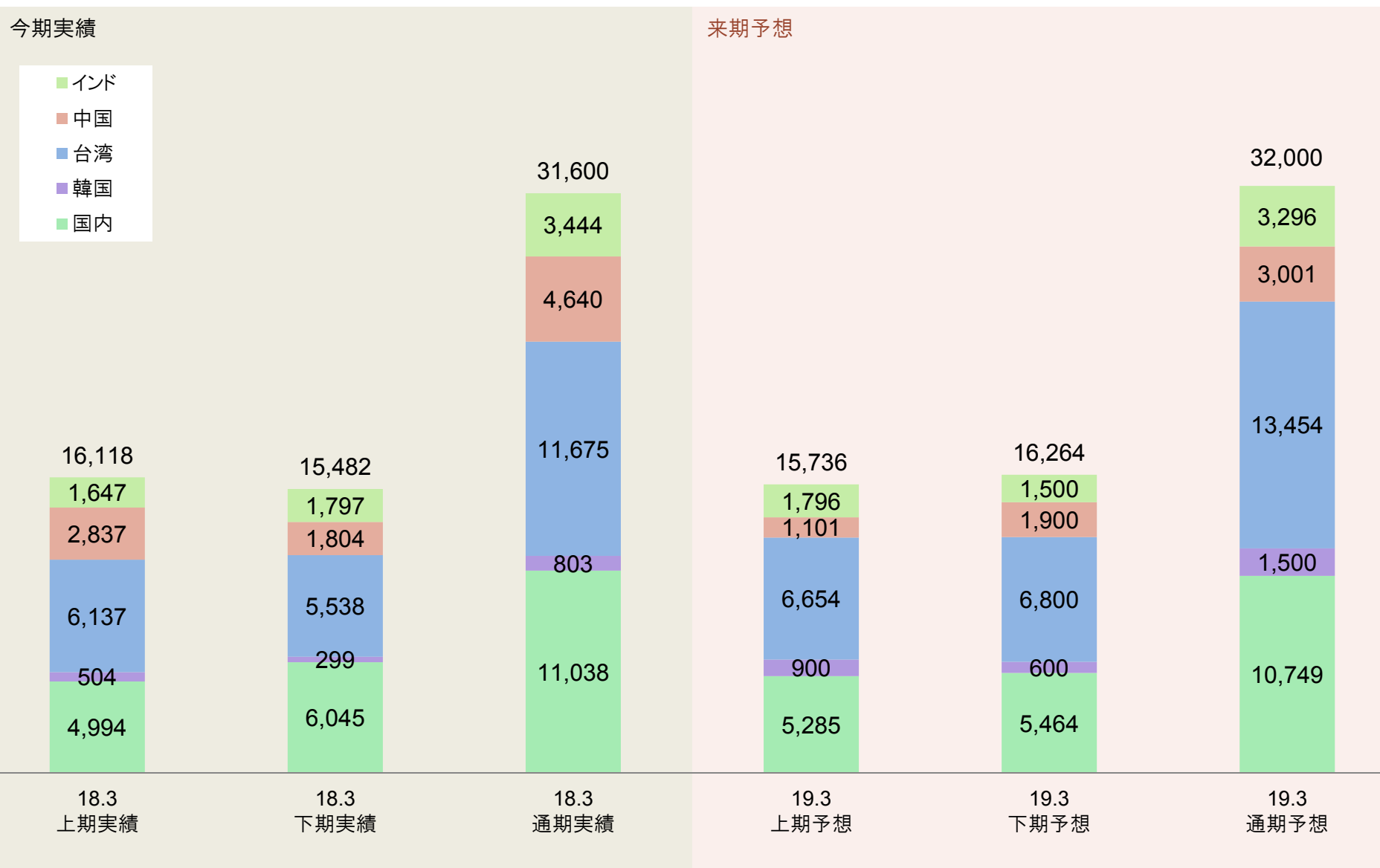
	18.3実績		19.3予想		対前期比	トピックス
	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	41,210	—	47,827	—	16.1	<p>■ 損益 LME価格の値動きは不安定ながらも前期比増見込み</p> <p>収益性強化策の効果を見込み黒字化を目指す</p>
営業利益	△3,239	△7.9	△1,489	△3.1	—	
経常利益	△203	△0.5	790	1.7	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	△811	△2.0	551	1.2	—	
(投資額)	259	—	381	—	47.1	
(減価償却費)	312	—	341	—	9.3	

【ニッケル事業】

	18.3実績			19.3予想			対前期比 (単位:%)	トピックス
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想		
生産数量(Niトン)	15,362	14,540	29,902	16,739	16,374	33,113	10.7	<p>■ 生産数量 前期の生産数量調整による在庫減をカバーするため、生産数量増</p>
販売数量(Niトン)	16,118	15,482	31,600	15,736	16,264	32,000	1.3	
適用LME(\$/トン)	9,766	11,684	10,692	12,897	12,125	12,500	16.9	
[適用LME(\$/lb)]	[4.43]	[5.30]	[4.85]	[5.85]	[5.50]	[5.67]		
適用為替(¥/\$)	111.17	111.13	111.15	109.49	109.67	109.58	△1.4	

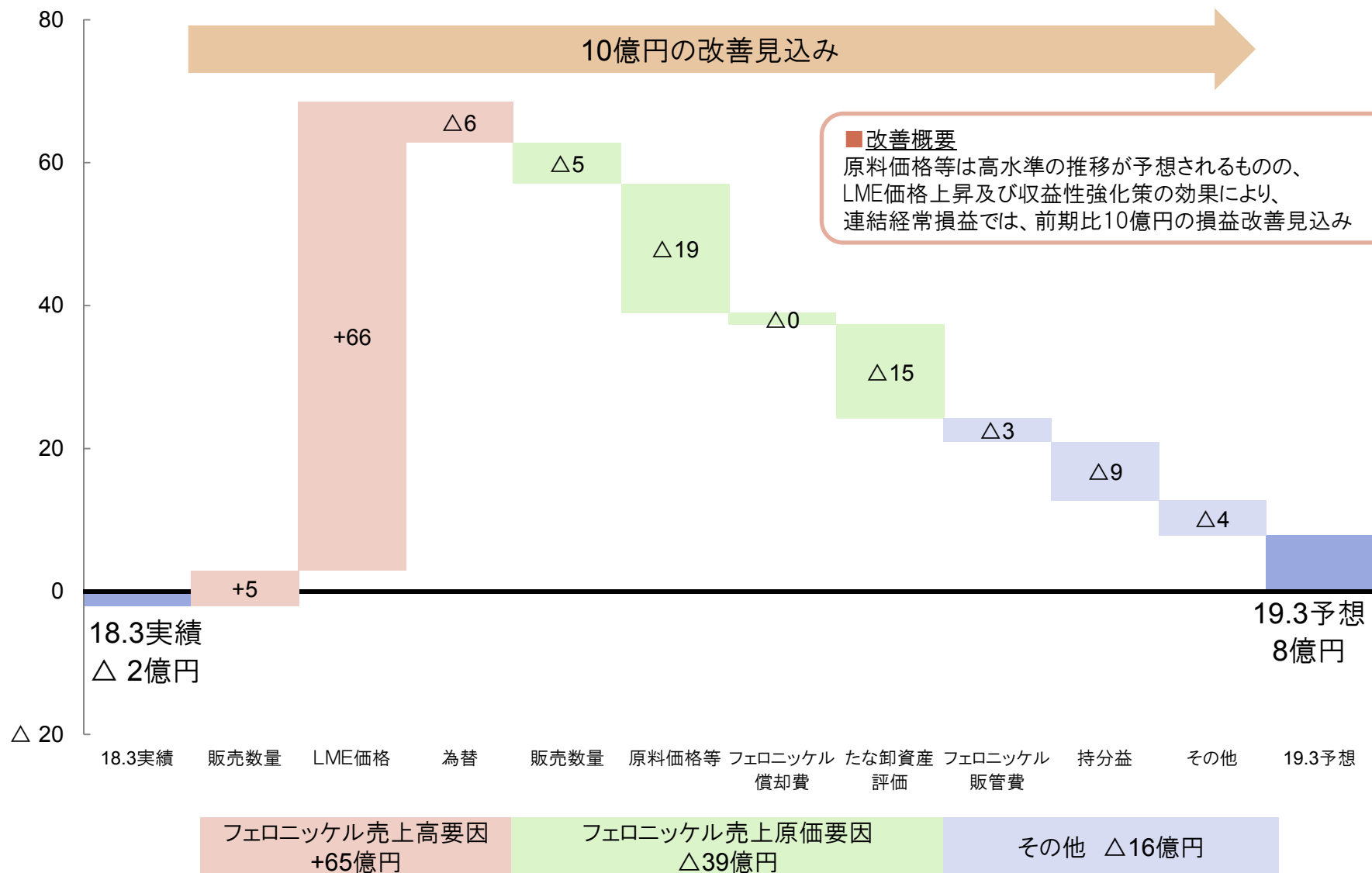
2. 国別販売見通し

(単位: Niトン)



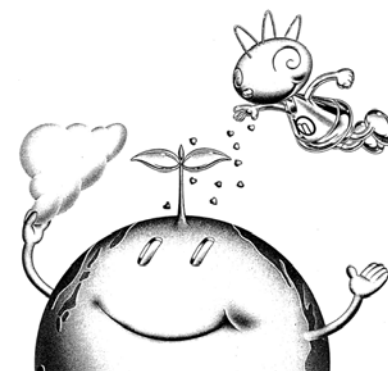
3. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



計 画 値		PAMCO-30 17.3計画	PAMCO-30 18.3計画	PAMCO-30 19.3計画
	生産数量(Niトン)	32,885	34,893	37,270
	販売数量(Niトン)	33,000	35,000	37,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,722 [4.41]	12,037 [5.46]	14,132 [6.41]
	適用為替(¥/\$)	109.90	118.82	119.48
	売上高(百万円)	37,525	52,065	65,607
	営業利益(百万円)	△5,792	△1,800	2,541
	経常利益(百万円)	△4,181	552	5,964
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△4,382	192	5,286
	投資額(百万円)	920	1,997	2,712
減価償却額(百万円)	394	409	559	
実 績 値 (見 通 し 値)		17.3実績	18.3実績	19.3通期見通し (5/11発表)
	生産数量(Niトン)	33,101	29,902	33,113
	販売数量(Niトン)	33,100	31,600	32,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,877 [4.48]	10,692 [4.85]	12,500 [5.67]
	適用為替(¥/\$)	108.64	111.15	109.58
	売上高(百万円)	38,697	41,210	47,827
	営業利益(百万円)	△3,070	△3,239	△1,489
	経常利益(百万円)	△516	△203	790
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△3,562	△811	551
	投資額(百万円)	269	259	381
減価償却額(百万円)	376	312	341	

大平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。